



第14期定期 大会報告②

JLUニュース

No 834 (14-03)
航空連 日本航空ユニオン
中央執行委員会
2022年 9月 16日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

取り組みに必要な予算を確認 粛々と実行していく

9月8日、日本航空ユニオン第14期定期大会の報告ニュースその②です。

第13期決算・第14期予算、規約の改定 三和会計幹事

財政議案書に基づいて、第13期の決算を報告。JLU ニュース No831 に基づいて、今大会で改正する「組合規約第67条、68条」の改正理由を説明したうえで、第14期予算案を提案した。加えて休日活動補償の増額を検討していることも説明した。

羽田 13期は赤字決算となっていて14期は収入に対して支出も同じように予算を組んでいるが、このままだと14期も結果として赤字になるのでは？余剰金があるからもう少しばかりは大丈夫なのはわかるし、組合費もこのくらいは仕方ないと思うけど、収支均衡で組むより支出を減らしてはどうか。中執内での話し合いはどうだったのか。

北日本 「人は金で動く」と言ってきた組合なのに、活動補償が少ないのはどうかと思う。全部ボランティアというわけにはいかない。休日活動保障は上げる方向で検討してほしい。支部の総意ではなく、個人的に賛成したい。

羽田 13期の赤字は組合費の徴収を一時止めたからだろう。また、今は年休と公休で活動補償を分けているけど、公休も年休も休みは休みなので同じにしたいと思う。

羽田 休日活動保障を増額するなら組合費の増額が必要になるのでは？組合員が増えることはなさそうなので組合費を増やすしかない。個人的には活動に必要ならば組合費増もかまわないと思っている。役員に負担をかけているからその対価は払うべきで、役員手当を上げてほしいと言うのは組合が「給料上げる」と言っているのと変わらない。組合費上げるのは難しいと思うけど…。

北日本 一時金が増えればそれだけ組合収入も増える。組合員が増えれば組合収入が増える。一時金アップを目指し、組合員が少しでも増えるよう活発に活動してほしい。

中執 今の体制で活動できるように必要な支出を先に考えて予算を組んでいる。それで赤字になっても剰余金があるので今は切り崩せば大丈夫。この剰余金も足りなくなれば支出の見直しも必要になってくるけれど、現時点では今まで通りの組合活動が出来るように支出を組んでいる。

■採決: 13期決算、14期予算案
=賛成21、反対・保留0、議長1で「可決」

■無記名投票(WEB方式)による採決: 規約の改正
=賛成22、無効0、反対0で「可決」

羽田支部兼務中央執行委員の任命

組合規約 47条に基づき、以下の役員、顧問の推薦があり、大会代議員全体の拍手で任命した。

第14期羽田支部体制(定数9名)

支部長 谷口 二郎(中央副執行委員長)
副支部長 糸谷 宏二(中央副執行委員長)
書記長 瀧本 桂一(中央副書記長)
副書記長 三和 博之(会計幹事)
支部委員 森 健一郎(中央副執行委員長)
支部委員 前川 徹(中央執行委員)
支部委員 水落 茂(中央執行委員)
支部委員 岩間 宏(中央執行委員)

*支部委員の定員は9名ですが役員選挙でHLM/Hの星崎陽さんが当選しているため、中執と羽田支部の兼務は8名となります。

第14期顧問

川上守利氏(2019年退職)を顧問とし、今期も安全会議の活動に携わっていただきます。

閉会あいさつ: 第14期糸谷副委員長

これで来期一年の方針が決まった。あまり内容は変わらないけれど粛々とやっていくことになる。組合員の平均年齢が上がり、自分も55歳。88~89年入社が多い。どこの組合も高齢化、先細りの課題を抱えているがJLUは今まで通り皆さんの声を経営や人財本部に伝えていく。身近にいる役員に、要求や課題を伝えていただければ、会社にも言うていくのでお願いしたい。本日はありがとうございました。



【代議員の半数11名が会場参加、他11名がZoomで参加しました】